

団体名	国立米子工業高等専門学校						
事業名	留学生が地域と共に考える環日本海海洋環境問題						
実施期間	6月28日～29日、7月3日～6日、9月22日						
場 所	福井県小浜市、鳥取県米子市、鳥取県西伯郡大山町、鳥取県日野郡江府町						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	53	14	32	20	15	30	164名

<実施内容>

- ①事業実施日:令和元年 6月28日～29日 米子高専プログラム
 28日(金) 漁港見学、漂着ゴミ清掃、茶道体験、うどん作り体験
 29日(土) 大山青年の家退所
- ②事業実施日:令和元年 7月 3日～ 5日 若狭湾プログラム
 3日(水) 「韓国船遭難救護の碑」見学
 4日(木) 朝の集い、海洋環境研修①(スノーケリング・カヌー)、交流会(地域住民)
 5日(金) 海洋環境学習③(カッター)
- ③事業実施日:令和元年 7月 5日～6日 米子高専プログラム
 5日(金) 研修報告会
 6日(土) 企業見学(江府町、奥大山天然水工場)、水木しげるロード見学
- ④事業実施日:令和元年 9月22日 よなご国際交流フェスティバル
 22日(日祝) 海洋環境問題の活動紹介(解説、ビデオ上映、ブース展示、パネル展示)
 と意見交換(地域住民)

<記録写真>



海岸清掃



<参加者からのコメント>

増田美悠さん(日本)
/Masuda Miyu

バヤラー オチルエルデネさん(モンゴル)
/BAYARAA OCHIR ERDENE

6月28日から7月6日まで、韓国の学生、本校留学生と協働する留学生地域交流事業(環境研修)に参加しました。海岸でのゴミ拾い、韓国船遭難救護の碑の見学、スノーケリング、カッターなど様々な体験をしました。海岸でゴミ拾いをした際、色んな国のゴミがありました。外国から海を渡って日本にやって来るゴミが問題になっていると学びましたが、逆に日本に住む私たちも海外にも影響を与えているのではないかと感じ、自分の行動を見直す良い機会となりました。また、韓国の学生との交流では、言葉の壁にぶつかって自分の伝えたいことが上手く伝えられず、もどかしさを感じることもありましたが、交流していくうちにお互いの言語が分かってきて、上手く会話ができるようになり、凄く嬉しかったし楽しかったです。沢山のことを学ぶことができ今後の人生に生きるいい経験ができました。

7月3日から6日まで留学生地域交流事業(環境研修)で日本と韓国の学生と交流活動をしました。若狭湾へのバス移動の途中で韓国学生が乗車し、元気に挨拶して話しかけてくれ、韓国の人は本当に優しい人たちだと感じました。すぐに韓国学生と仲良くなり、韓国について教えてもらったり、モンゴルについて教えてあげたりしました。若狭湾でのスノーケリングやカッターなどのいろいろな交流活動はとても楽しかったです。最終日、韓国の友達の見送りは本当に寂しかったです。環境研修のおかげで海洋漂着ゴミ問題などを知ることができ、一緒に過ごした時間は短かったですがたくさん友達ができました。また来年もこの環境研修に参加したいです。